



小雀公園 里山通信



Vol.8 春に向けて枯れ草刈



まだまだ寒い日もありますが、次第に日差しが暖かくなり、いよいよ春がやってきます。そういえば先日まだぎこちないながらもウグイスのさえずりが聞こえてきて、もう冬も終わりだなと思われました。春の兆しは鳥のさえずり、虫の活動、草木の芽吹きなど、様々なところから感じ取られます。みなさんは何を見た時に春がきたと感じますか？

夏は伸びる草との戦いのように草刈に追われますが、冬の間は草が伸びません。秋にすべての草を刈り取ってしまうと生き物の隠れ場所がなくなってしまうので、ところどころは刈らずに残している場所もあります。また、秋の初めに草刈を終えたところは、冬前にある程度伸びてから枯れるので、冬の間はあちこちで枯れ草が北風に吹かれて揺れていました。小雀公園は自然風の公園なので、こういった枯れ草もまたわびしさが感じられる風情としてとらえていただければと思います。



そしてそれらの枯れ草は、春の芽吹き前に刈り取ります。春一斉に大地からみずみずしい芽吹きが始まったとき、茶色く干からびた枯れ草がまじりあっていたら、清少納言に「すさまじきもの（興ざめするもの）」と言われてしまいそうです。



枯れ草刈の後は潜んでいた虫を食べに鳥が集まってきたり、日差しを浴びてツクシやオオイヌフグリが顔を出し、いよいよにぎやかな春となります。冬の間は縮こまって肩がこっていた方も、暖かな春の日差しの下で心と体をゆるませて、リラックスしたひと時をお過ごしください。



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

